

## 互いの個性の理解

<p>◆<b>学習のねらい</b> 友達や教師が見付けてくれた自分の良いところを知り、自分の良いところを伸ばしていこうとする態度を育てる。</p>	<p>◆<b>教育課程における位置付け</b> 特別活動</p> <p>◆<b>主な使用教材</b> ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 小学校3・4年生版 心しなやかに』 ・自分らしさカード・「○○さんらしさカード」</p>
---	--

### 展開

	学習活動（・児童の発言）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。	○ 児童が自分らしさ、友達らしさを見付けやすくなるよう、「らしさ」とはどのような意味であるかを確認してから、教師が自分らしさを紹介する。
自分らしさをみがこう。		
展開 35分	2 『心しなやかに』86ページの絵を見て、自分の良いところや自分の気になるところについて考え、2人組で話し合う。 ・ 挨拶が元気にできる。・ 忘れ物が多い。	○ 良いところや悪いところということではなく、自分の特徴がその人らしさであり、掛け替えのない自分であることを伝える。
展開 5分	3 『心しなやかに』87ページを読み、「自分らしさ」について考え、「自分らしさカード」を書く。 ・ 私の自分らしさって何かな。 ・ 友達のことなら分かるよ。	○ 2人組で話すことで「自分らしさ」について考えやすくする。 ○ 考えられない児童には、教師が例示する。 ○ 話し合いの後、何人が発表し全員で共有する。
	4 4人グループになり、自分以外の3人のことについてカードに書く。 (1) 友達の紹介が書けたら、その友達に裏返して渡す。 (2) 3人が書いてくれたカードを読み、自分が書いた「自分らしさカード」と比べる。	○ 自分で見付けられない児童や、迷っている児童には声を掛け、頑張っているところを伝え自信を持って記入できるようにする。 ○ 教師も児童の具体的な良いところを探しておき、探せない児童に気付かせる。 ○ 「自分らしさカード」と書いてもらったカードを比べ、自分も友達も思っている「自分らしさ」や、その人だけが気付いている「自分らしさ」があることを伝える。
まとめ 5分	5 感想をまとめる	○ 自分らしさを大切にすることや、みんながお互いのその人らしさを認め合うことで、学級が楽しくなることに気付かせる。

### 授業を終えて

#### 1組

- 自分のよいところが思ったよりいっぱいあった。
- 自分では気付けない良いところを知れてよかった。
- みんなが自分のことを大切に思ってくれていることが分かった。
- 思っていた以上自分だけの良いところがあり嬉しかった。

#### 2組

- 友達に自分の良いところを見付けてもらえると嬉しい。
- 自分らしさを友達に教えてもらうことができて良かった。
- 友達とカードを交換するのが楽しかった。
- 友達に良いところをたくさん伝えることができた。